

# 福井県立運動公園・福井県少年運動公園(1/2)

## 「汗ばか 汗ばか 笑顔 いい出会い」

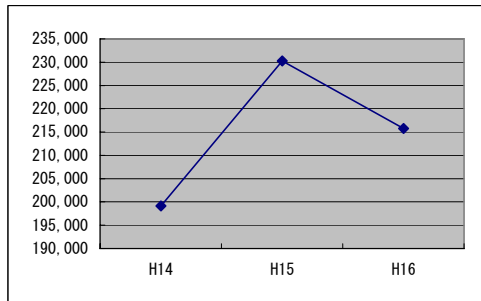
所在地	福井市福町3-20		
設置年月日	昭和38年8月(認可)		
施設の種類	都市公園	施設管理主体	県
設置の目的	総合運動公園としてひろく県民の利用を図り、スポーツの振興と健康増進に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	総面積289,000平方メートル、陸上競技場、補助競技場、野球場、補助球場、水泳場、ラグビー・サッカー場、テニスコート、ボクシング場、体育館、事務所、合宿所、少年運動公園		
職員数	所長1名、正職員15名、嘱託6名、事務補助2名 計24名		

### 利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	199,170	230,240	215,797
競技観戦者数(人)	74,782	81,903	75,712
大会使用回数(回)	179	168	185

### 利用者負担(利用料金)等

入館料	福井県都市公園条例第11条



利用状況の推移	平成15年度は、前年度が北信越国体の当番県であり、大会期間中に施設が使用できなかったこともあり、前年度に比べ約15%増加しました。 平成16年度は全国スポーツレクリエーション祭の当番県であり、準備期間を含むスポレク開催期間中は施設が使用できなかったため、前年度に比べ約6%減少しました。
---------	--

### 16年度の特徴について

事業実績	<p>全国スポーツレクリエーション祭福井大会など年間185回の大会会場として、また個人、団体等の利用を含め、各競技施設において約20万人の利用者がありました。</p> <p>フィットネストレーニング事業において競技者の専門体力測定を行い、福井県のスポーツ競技力向上を図りました。(利用者前年比20%増)。また、アスリートサポートを行い、各種運動クラブの基礎体力向上を図りました。</p> <p>トレーニング指導事業において、希望者を対象に体力測定、指導、相談を行いました。</p> <p>スポーツクラブ育成指導において、ニュースポーツクラブの運営支援を行い、生涯スポーツの振興を図りました。また、活動母体を持たない選手を対象に陸上クラブの育成を行いました。</p> <p>マレットゴルフのコース整備、用具の貸出しを行うなどマレットゴルフの普及発展に努めました。</p> <p>広域スポーツセンター事業において、スポーツ教室等の指導や研修会・講習会を開催、また、情報ネットワークの運用や広報誌・リーフレット・紹介ビデオ・DVDなどを作成し、総合型地域スポーツクラブの育成、支援を行いました。</p> <p>利用者の意見・要望などを取り入れ補助競技場の夜間照明設置など、より利用しやすい施設づくりに努めました。また、園内の清掃、修繕など環境美化に努めました。</p>
------	---

### 広域スポーツセンター

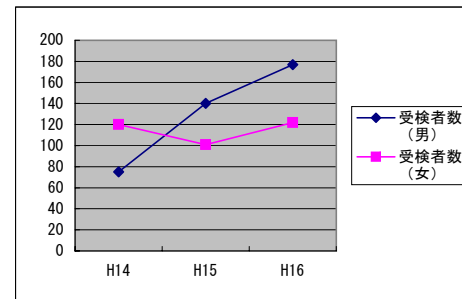
地域住民の自主運営による総合型地域スポーツクラブの創設や育成を支援しています。16年度末までに6つのクラブが設立されました。



### 専門体力測定

測定装置を使い、スポーツ選手を対象に体力測定を行っています。16年度末までに3400名を超える選手を測定しました。

体力測定受検者数(人)



# 福井県立運動公園・福井県少年運動公園(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	173,367	31.9%
	退職給与引当金繰入	▲ 12,078	-2.2%
	計	161,289	29.7%
物にかかるコスト	物件費	159,099	29.3%
	維持補修費	9,611	1.8%
	減価償却費	197,906	36.4%
	計	366,616	67.5%
その他	公債費(利子)	15,861	2.8%
	その他	0	0.0%
	計	15,861	2.8%
合計		543,766	100.0%

(単位 千円)

収入			
利用料等収入	17,991	3.3%	
その他収入	2,793	0.5%	
一般財源	522,982	96.2%	

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

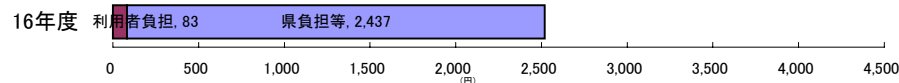
借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	27,224,471	固定負債	732,542
投資等	0	流動負債	94,905
流動資産	0	正味資産	26,397,024
計	27,224,471	計	27,224,471

利用料等収入計	17,991,000 円
利用者1人あたり平均利用料	83 円
利用者1人あたりコスト	2,520 円



施設の特徴	<p>都市計画法、都市公園法に基づき設置された、下記各種競技施設を有する緑豊かな公園であり、各種全国大会、北信越大会、県大会、プロ野球開催等から個人利用まで広く利用され、スポーツの振興と健康増進に貢献しています。</p> <p>陸上競技場：総面積27,102㎡、収容人員17,000人、第1種公認、全天候舗装トラック</p> <p>野球場：総面積25,623㎡、収容人員22,000人、ナイター照明</p> <p>テニスコート：総面積14,884㎡、収容人員10,000人、セミソフトコート</p> <p>水泳場：総面積10,392㎡、収容人員1,500人、50m・飛込み・25m・幼児プール</p> <p>ラグビー・サッカー場：総面積13,306㎡、収容人員1,100人、芝コート</p> <p>ボクシング練習場：面積160㎡、練習ジム</p> <p>体育館：総面積8,695㎡、(本館)第1競技場、会議室、(別館)第2競技場、トレーニング場、軽スポーツ室、スポーツサウナ、体力診断・相談・測定室</p> <p>合宿所：面積943㎡、3F、定員44名</p> <p>事務所：面積627㎡、2F</p> <p>マレットゴルフ：北コース(18ホール)、南コース(18ホール)</p> <p>少年運動公園：総面積38,900平方メートル、芝生広場、擬木の森、冒険の丘、冒険の海、サイエンス広場、幼児コーナー、遊動系施設広場、野外ステージ、屋内休憩所</p>
今後の課題	<p>都市公園、競技施設として安心、安全、快適な利用のための環境美化、点検整備また効率的な活用のため利用団体等との調整に努めるとともに、一層のコスト削減を図ります。</p>

## 利用者1人あたりのコスト負担の状況



## バランスシート、行政コスト計算書の特色

施設の設置が昭和40年代前半と古く、減価償却費の割合が低くなっています。良好なスポーツ施設、緑豊かな環境を確保するため、物件費、維持補修費の割合が全体の約30%を占めています。

今後の事業方針	<p>福井運動公園がスポーツの拠点としてより良い環境でプレーできるよう、利用者の意見、要望等を意見箱等により取り入れ、より効果的な運営を図るとともに、施設の維持管理・経費節減に努めます。</p>
取組み内容	<p>スポーツ情報ネットワーク(ホームページの情報管理)、スポーツクラブ育成、トレーニング指導、専門体力測定等により、生涯スポーツ、競技スポーツの振興を図ります。</p> <p>福井運動公園発祥のマレットゴルフを県および市のマレットゴルフ協会と連携を図り、より一層の普及を図ります。</p> <p>福井運動公園に集う人々が緑豊かな環境でリフレッシュできるよう清掃、点検、早期修繕に努め、また、子供たちが安全に遊びを通して健全な成長、体力づくりができるよう遊具等の点検整備に努めます。</p>